

◇黒留袖着付競技 競技規程

- 1) 着付用ボディを使用し、黒留袖に袋帯（六通、又は全通）を使用し、二重太鼓の帯結びで留袖着付を完成する。
- 2) 長襦袢及び留袖の襟とじ、比翼のとじは25分間、ボディ修正から長襦袢着付までの作業を20分間、及び留袖着付及び帯結びの作業を20分間、それぞれ競技ステージで行う。
合計時間…65分間
- 3) 長襦袢・留袖に関する詳細事項
 - ① 極端に完成されたボディ修正用具の使用は認めない
 - ② 袖の錘用の板紙等の使用は認めない
 - ③ 前身頃の衽の縫目と「おはしより」の縫目は揃えること
 - ④ 留袖の身幅にアールを付けて胸部を絞ったものは認めない
 - ⑤ 長襦袢の衿は広衿とする。巡礼衿や特別に考案・加工された特殊な型式のものは認めない。
 - ⑥ 半衿は白無地とする
 - ⑦ 後衿の力布はあってはいけない
 - ⑧ 着物類は着せだたみをしておく
 - ⑨ 長襦袢は上下セパレートのもの認めない
- 4) 帯結び、その他に関する詳細事項
 - ① 帯の型付けや、特定のヒダの折り癖を強く付けたり、帯結びの過程につながる過度のたたみ方をしてはいけない
 - ② 帯にアクセサリは付けてはいけない
 - ③ 帯上げは中央とし、帯締めは寿結びにすること
 - ④ ボディ用足袋はボディ下部の足の位置に置く
- 5) 競技に関する制限、及び禁止事項
 - ① 帯や着物に糸印を付けてはならない
 - ② 物差し類の使用は認めない
 - ③ 助手の使用は認めない。但し、競技用具の搬出入に限り、係員の指示に従い指定した場所までは立ち入ることができる
 - ④ 選手の服装は、華美なものは避け作業のしやすいものとする。
靴は可能な限りヒールの低いものとする。
 - ⑤ 競技中、選手同士や観客と会話をしてはならない
 - ⑥ 競技中、器具・用具の貸し借りはしてはならない
 - ⑦ 競技中、他の選手に迷惑行為をしてはならない
 - ⑧ 競技終了後、作品（ボディ）は正面を向かせ、腕付きのボディの場合は腕を下げ自然体にする
- 6) 選手が準備、持参する物
着付用ボディ、ボディ用足袋、黒留袖、袋帯（六通又は全通）、長襦袢（衿は三河芯幅に半衿、又は広衿に半衿を付けたもの）、帯締め（平打）、帯上げ、肌襦袢、裾除け又はワンピース型肌着、腰紐、ゴム仮紐、伊達巻（2本）、帯板、帯枕、衿芯（和紙・半紙・障子紙・奉書紙、又はセルロイド衿芯も使用可。但し、折ってあってはならない）、ボディ修正用具（綿花・タオル・さらし又はガーゼ）、クリップ類、衣裳敷（並版）、衣裳箱（高さ18cm位の一般的な物）